

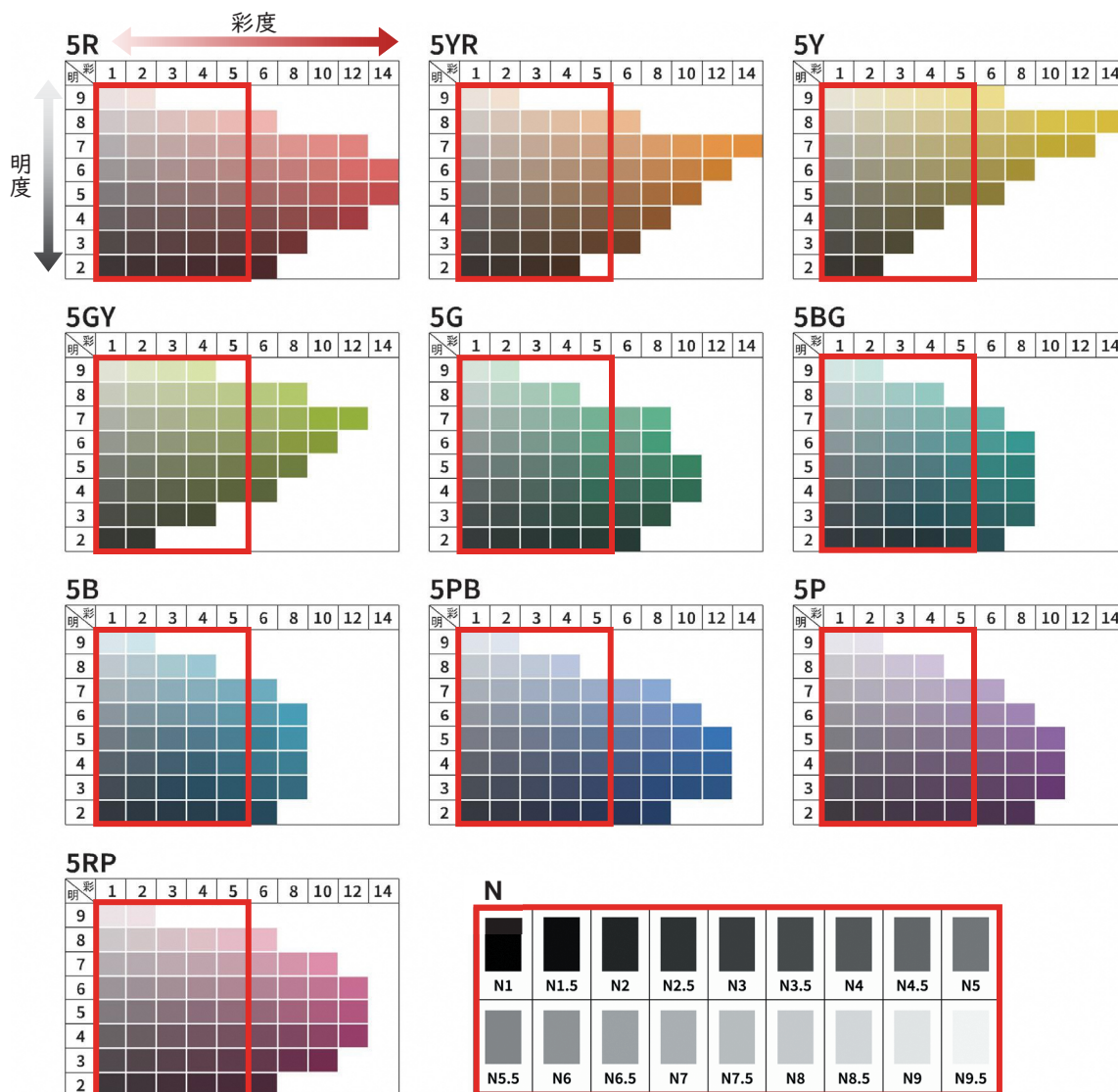
資料 マンセル値による色彩基準

屋外広告物に関する色彩基準の範囲について

色彩基準の範囲の目安を四角で囲っていますので、ご参照ください。

また、このガイドラインでは代表的な例として色相を5で統一し表記しております。

〔屋外広告物の色彩基準の範囲（対象となる基準：p36）〕



※印刷状況等により、実際のマンセル値とは色表現が異なる場合がございます。色彩の確認は実物の建材サンプルや色見本帳で行うことを推奨します。

 屋外広告物の地色と文字の色彩の基準となる範囲

※(参考)N0について

マンセル表色系では最も理想的な黒をN0としていますが、完全に光を吸収してしまう色であり、色表現できないため、表記の上では下限の明度をN1,上限をN9.5としています。

解説 マンセル表とは

景観計画等では、色彩を正確にかつ客観的に表すために、マンセル表色系を採用しています。

マンセル表色系は、JIS にも採用され多くの国で用いられている、色彩のものさしともいえる尺度で、一つの色彩を「色相(いろあい)」「明度(あかるさ)」「彩度(あざやかさ)」という3つの属性の組み合わせによって表現します。これによって、赤や青、黄色などといった色名による表現よりも個人差の無い正確な色彩を表現することができます。

色相 (いろあい)

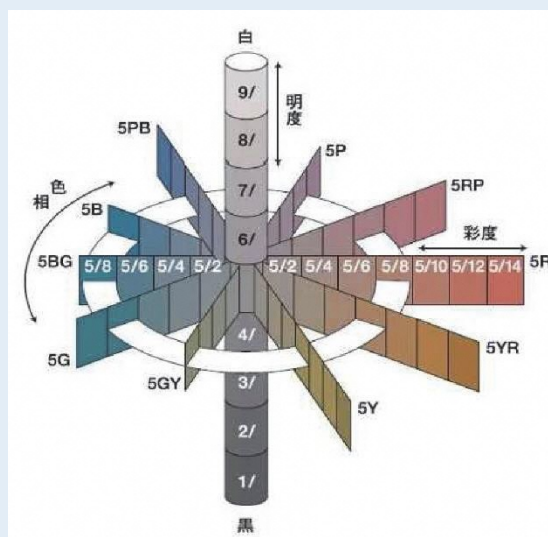
色相はいろあいを表します。10種の基本色(赤、黄赤、黄、黄緑、緑、青緑、青、青紫、紫、赤紫)の頭文字をとったアルファベット(R, YR, Y, GY, G, BG, B, PB, P, RP)とその度合いを示す1～10までの数字を組み合わせ、10Rや5Yなどのように表記します。

明度 (あかるさ)

明度は、あかるさの度合いを0～10までの数値で表します。暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなり10に近くなります。

彩度 (あざやかさ)

彩度は、あざやかさの度合いを0～16程度までの数値で表します。色味の無い鈍い色ほど数値が小さく、白、黒、グレーなどの無彩色の彩度は0になります。逆に鮮やかな色彩ほど数値が大きくなり赤の原色の彩度は16程度です。



マンセル記号による色彩の表し方

5 YR **4** **6**
色合い 明度 彩度

N **4.0**
無彩色 明度

マンセル記号はこれら3つの属性をあわせて一つの色彩を表記する記号です。有色彩は、色相、明度、彩度を組み合わせて表記し、無彩色はニュートラルを表すNと明度を組み合わせます。

●お問い合わせ先

山形市 まちづくり政策部 まちなみデザイン課
〒990-8540 山形市旅籠町二丁目3番25号

TEL：023-641-1212 FAX：023-624-8903

（景観について：内線 512 屋外広告物について：内線 516）